浜松地域の経済動向

2021年8月を中心に

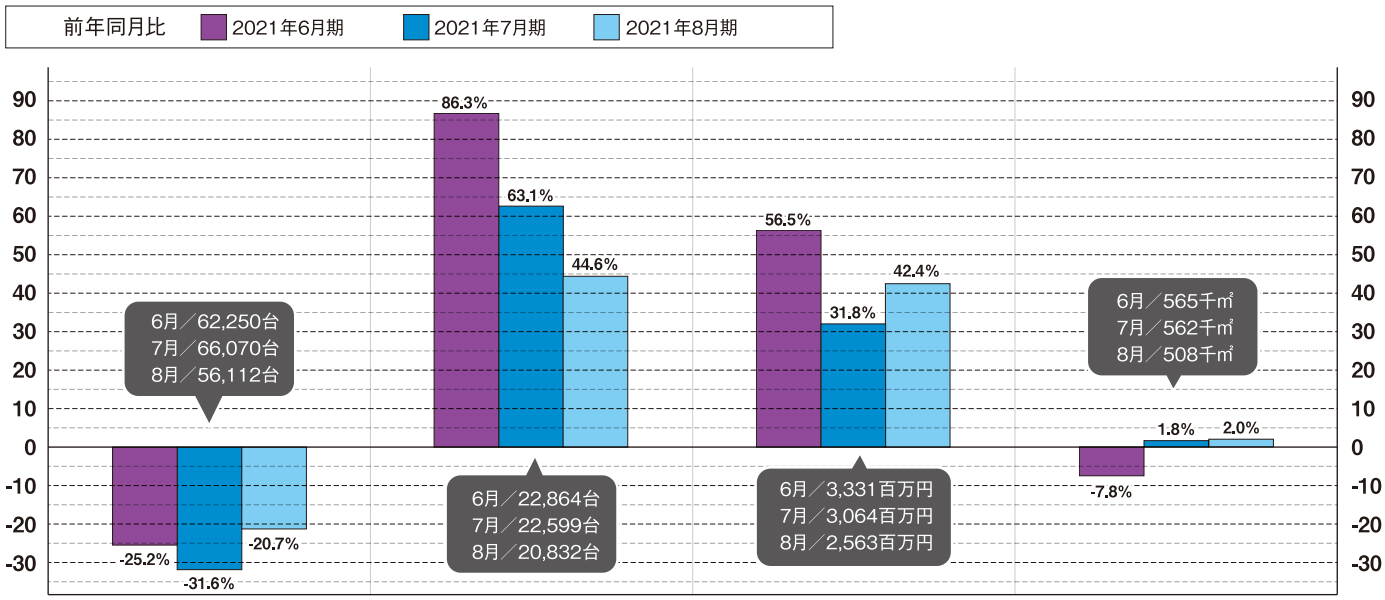
新型コロナ感染再拡大の影響などから景気は足踏み状態にある

2021. 11月

発行：浜松商工会議所

浜松地域の景気は、足踏み状態にある。
自動車生産台数は半導体などの供給制約の影響を受け減産となった。
新型コロナウイルス感染症の再拡大による、蔓延防止等重点措置の適用、緊急事態宣言により、
タクシー乗車人数は前年同月を下回り、
浜松市内ホテル稼働率は前年同月を上回ったものの稼働率44.4%と低調であった。
8月の浜松管内の有効求人倍率は前月より0.03ポイント上昇し1.11倍となったが、全国、静岡県を下回っている。
倒産企業数は前年同月より少なかったが、負債額は増加した。

① 製 造 業〈主要経済指標〉



遠州地区自動車生産 台　数
（資料：浜松商工会議所）

遠州地区二輪車生産 台　数
（資料：浜松商工会議所）

静岡県楽器製造 生産金額
（資料：静岡県楽器製造協会）

遠州地方広幅織物 生産高
（資料：遠州織物工業（協））

自動車

前年比 DOWN

2021年8月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比20.7%減の5.6万台となった。軽自動車、小型自動車、普通車全てで減少した。国内向けは前年同月比24.8%減、輸出は5.3%減となった。半導体などの部品不足で工場を一時停止したこともあり減産となった。現状、需要はあるが在庫がない状態となっている。

二輪車

前年比 UP

2021年8月における二輪車生産台数は前年同月比44.6%増の2.0万台となった。国内向けは前年同月比158.4%増、輸出は前年同月比30.6%増となった。排気量別では50cc以下前年比29.4%増、51cc～125cc以下38.9%増、126cc～250cc以下21.5%減、251cc以上74.2%増であった。輸出は7カ月連続で前年同月を上回り、国内向けも3カ月連続で前年同月を上回った。

楽 器

前年比 UP

2021年8月における生産金額は前年同月比42.4%増の25.6億円となった。前々年同月との比較では0.9億円下回った。ピアノ36.2%増、電子・電気ピアノ65.8%増、管楽器17.2%増となった。5カ月連続で全ての品目で、前年同月を上回った。

繊 維

前年比 UP

2021年8月の生産高は前年同月比2.0%増の508千㎡となった。2カ月連続で前年同月を上回ったが、前月からは54千㎡減少した。緊急事態宣言発令により需要は減少しており、店頭での衣料品販売は芳しくない。来春夏向けの生産が始まる時期が近付いているが、受注は伸び悩んでおり、厳しい状況が続いている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸

前年比 DOWN

2021年8月におけるタクシー乗車人員は前年同月比6.9%減の20.1万人となった。新型コロナウイルス感染者が増加し、8日からの蔓延防止等重点措置の適用、20日からの緊急事態宣言により、繁華街の夜間利用者が激減し、昼間の通院や買い物での利用者、ホテル客、出張客も少ない。各社、乗務員・営業車を減らして対応している。

観光

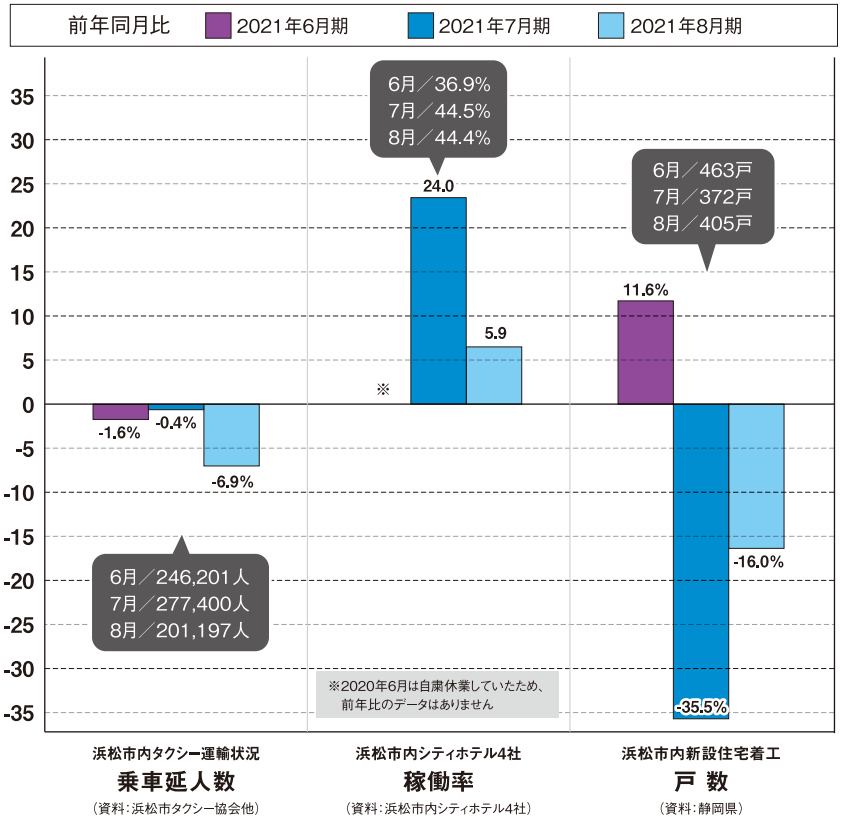
前年比 UP

観光業では、8月の浜松市内ホテルの稼働率は、前月より0.1ポイント下降し44.4%となった。お盆期間中は、個人観光客、ファミリー層の利用で比較的順調に推移したが、緊急事態宣言以降は低調に推移した。前年は中止となっていたイベント、会合が一部開催にとどまり、厳しい状態が続いている。

住宅着工

前年比 DOWN

2021年8月における浜松市の新設住宅着工戸数は、前年同月比16.0%減の405戸となった。持家は前年同月比12戸増、貸家は29戸増、分譲住宅は120戸減であった。分譲住宅の着工件数の減少が大きかった。前月との比較では33戸上回った。静岡県全体の住宅着工戸数は前年同月を187戸上回る1,793戸であった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人

前年比 UP

ハローワーク浜松管内における2021年8月の有効求人倍率は1.11倍と2カ月連続で1倍を上回った。前年同月との比較では0.27ポイント上回った。全国（1.14）との比較では0.03ポイント、静岡県（1.23）との比較では0.12ポイント下回った。前月との比較では、0.03ポイント上回った。浜松管内の有効求人数は前月より74人増加。雇用情勢の改善はみられるが、全国、静岡県を上回るまでには至っていない。

倒産企業

前年比 DOWN

2021年8月における県西部の企業倒産件数（帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産）は3件、負債総額は6.8億円となった。倒産企業数は前年同月より2件減少したが、負債額は6.0億円増加した。前月からは1件増加した。静岡県全体の倒産件数は10件で前年同月より4件減少した。新型コロナ感染症の拡大の影響で倒産の増加が懸念されたが、各種支援策により倒産は抑制されている。

ガソリン価格

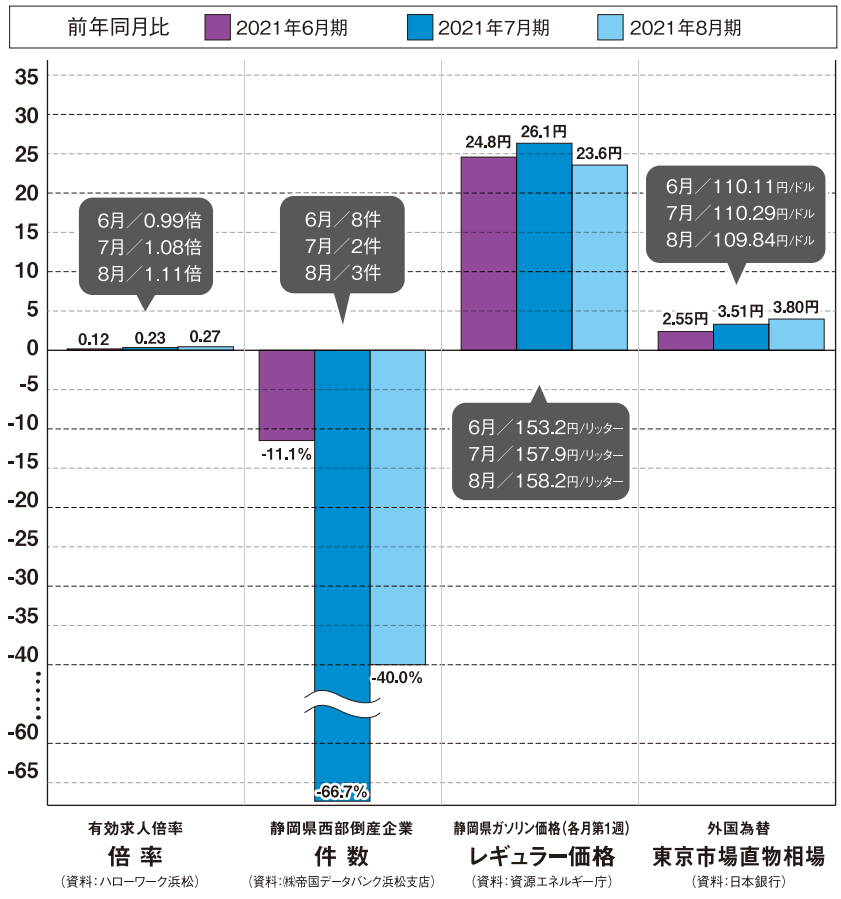
前年比 UP

2021年8月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり158.2円となった。前月比0.3円上昇、前年同月と比較すると23.6円上昇した。5カ月連続で150円超えとなった。4カ月連続で前月価格を上回っており上昇傾向が続いている。

外国為替

前年比 UP

2021年7月の外国為替は1ドル109.84円、前年同月と比較すると3.8円の円安、前月との比較では0.45円の円高となった。8月は前月より円高となったが依然円安傾向は続いている。



緊急事態宣言と部品供給不足が回復基調に水を差す

2021.
7月～9月期
中小企業景気動向調査
結果報告
2021年11月発行

4四半期連続で回復基調だった静岡県西部地域中小企業の業況判断指数は、
ここで悪化に転じた。緊急事態宣言と半導体不足、
東南アジアのサプライチェーンの乱れが悪化要因となった。

※業況判断指数…… 景況判断の基準としてDI（Diffusion Index）による分析で、各質問項目のプラス傾向割合からマイナス傾向割合を差し引いた数値のこと

	全体				うち小規模事業者			
	調査数	業況			調査数	業況		
		前期	今期	見通し		前期	今期	見通し
全体	626				252			
二輪車部品製造	49				20			
自動車部品製造	75				19			
機械部品製造	57				32			
楽器部品製造	22				14			
繊維製造	23				20			
卸売業	76				28			
小売業	60				24			
建設業	69				10			
不動産業	44				29			
飲食・宿泊・レジャー等	30							

「2021年7月～9月期中小企業景気動向調査」より
浜松市内の中小企業を対象に、業況判断・売上高・経常利益等のDI値を、四半期毎に産業別・地域別等に算出する景気動向調査です。経営者へのヒアリングをベースに算出しています。

調査で聞き取ったコメント

※意見の多かったものを抜粋して掲載しています。

- 半導体不足の影響により、売上が減少している。（自動車部品製造）
- Zoomを利用した商談やWeb申込システムを充実させ、効率化・IT化を図っている。（卸売業）
- ウッドショックの影響で、工期の延長をせざるを得なくなった。（建設業）
- 緊急事態宣言によってキャンセルも出ているが、昨年の宣言時より客は多い。（レジャー）

天気予報図の見方

DI：景気動向指数

土砂降り	雨	曇り	薄曇	晴れ時々曇り	晴れ	快晴
DI：-30.0以下	DI：-10.0～-29.9	DI：-0.1～-9.9	DI：0.0～9.9	DI：10.0～19.9	DI：20.0～29.9	DI：30.0以上

低調 ← → 好調